

会社概要

名称	JFE 環境テクノロジー株式会社 JFE Environment Technology Company, Limited
本社／本店所在地	〒261-7130 千葉県千葉市美浜区中瀬2丁目6番地1 WBG マリブイースト 30階、31階
設立年月日	昭和60年10月16日
資本金	4億5千万円
株主	JFE エンジニアリング株式会社 (100%)
事業内容	各種環境施設における設計・調達・建設、 運転管理・メンテナンス
事業拠点	【センター】 大阪センター 〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1丁目11番7号 信濃橋三井ビルディング4階 岡山センター 〒700-0923 岡山県岡山市北区大元駅前10番7号 JR大元駅NKビル5階 大牟田センター 〒836-0034 福岡県大牟田市小浜町1丁目2番地の1 鉾山ビル6階 【事業所】 運転管理事業所 (全国17箇所)
許可登録	特定建設業(土)(建)(電)(管)(機)(水)(清)(解) 一級建築士事務所 労働者派遣事業 毒物劇物一般販売業
認証	ISO9001:2015 (JQA-QM7949) ISO14001:2015 (JQA-EM6799)

● 本社

○ センター

● 事業所



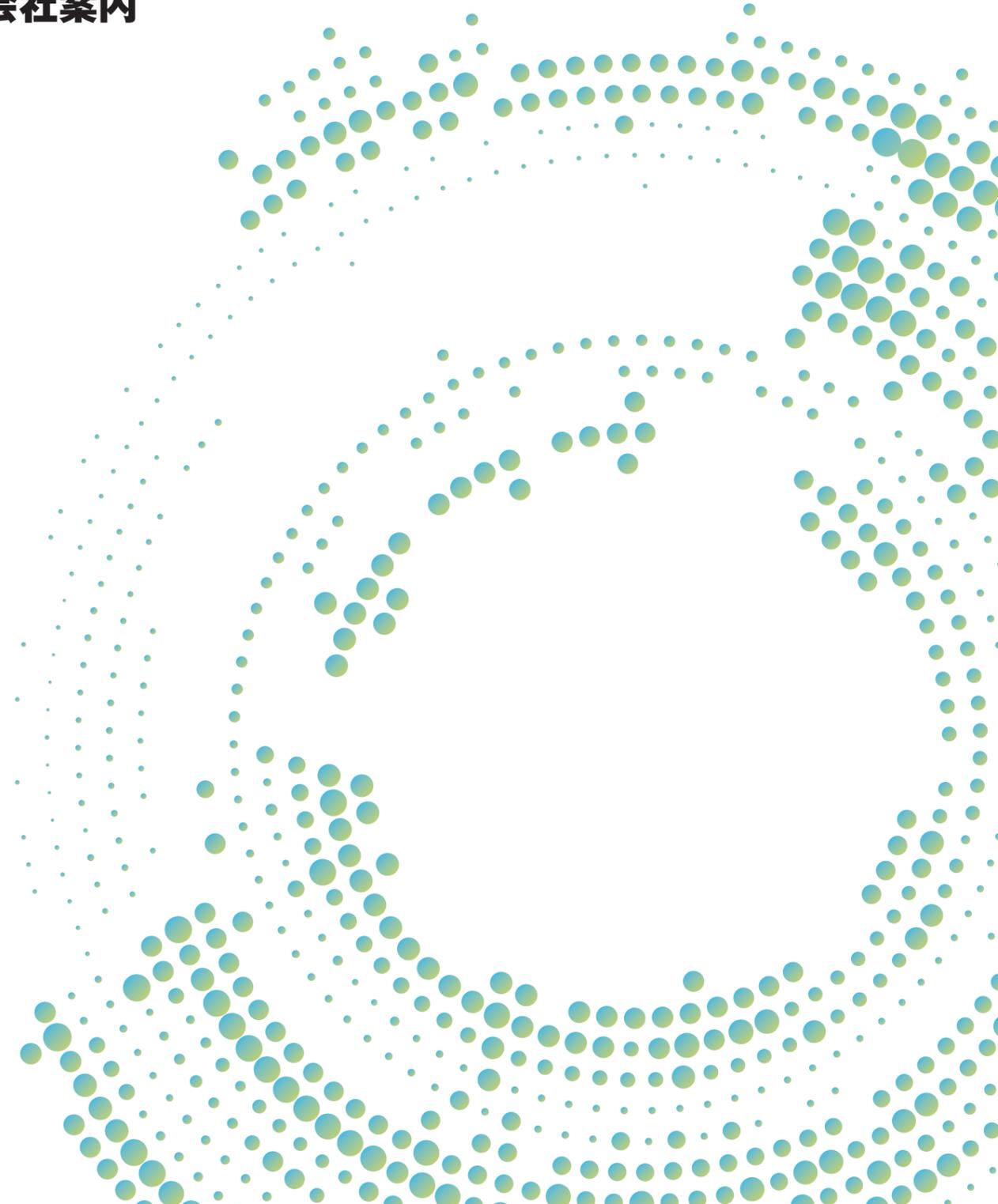
公式HP



JFE 環境テクノロジー株式会社

CORPORATE PROFILE

会社案内



技術で支える、ひたむきに歩む

廃棄物の「処理・再資源化」で持続可能な社会に貢献



JET：社会の、地域の持続可能性を根底で支える環境分野のエキスパート

今やあらゆる分野で必須の概念となった持続可能性（サステナビリティ）。当社は環境関連施設の O&M 事業の専門企業として産声をあげ、およそ 40 年にわたり多様な人材と技術を融合させ、EPC、廃棄物処理など事業を拡大して環境と社会のサステナビリティをリードしてきました。

激変する社会の中にあっても、揺るがない技術と社会・環境への貢献という喜びを作り出す仕事。次代のサステナビリティを支え続けるエキスパート集団、それが JET（JFE Environment Technology）です。



企業理念 PHILOSOPHY

企業理念（存在意義・使命）

地球環境と社会のサステナビリティをリードします
新しい価値を創出するソリューションを提供します

経営姿勢（企業理念を実現するための方向性）

お客様・従業員・関係者の皆さまにより高い満足を提供します
多様性を持ち 平等かつ健康的な職場を実現します
サステナブルで強靱な社会の実現に寄与します

<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術イノベーション 地方創生 サーキュラーエコノミーの実現 インフラ強靱化 	<p>新価値創造</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変動への対応 エネルギー需給の改善 エネルギー効率の最大化 マテリアルのリサイクル 	<p>お客様 / 従業員 / 関係者満足度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス 品質確保 安全確保
---	--	---

沿革 HISTORY

一貫した環境ビジネスソリューションで、時代の持続可能性を支え続けて約 40 年。世界最高峰の技術力を誇る日本有数の企業グループ「JFE グループ」の一員として、新たな歴史を刻む。



廃棄物処理プラント EPC・O&M事業

「処理する」だけではない。エネルギーの循環と資源の利活用で、持続可能な社会に貢献

SERVICE 事業内容

施設建設

親会社である JFE エンジニアリングのストーカ技術を採用し、高効率燃焼と高効率発電による環境負荷の軽減と、熱の有効活用を実現する施設を提供します。



延命化

施設は適切な運転や定期的な整備により維持されますが、それでも経年劣化は免れません。当社では、施設の長寿命化のために主要な機器を更新改良し、機能を維持・改善する基幹的設備改良工事も数多く手掛けています。

運転管理

施設の建設で終わりではなく、その後の安定稼働を担う運転管理。優れた技術者と経験豊富な運転員により、施設を安定的かつ効率的・効果的に稼働させます。

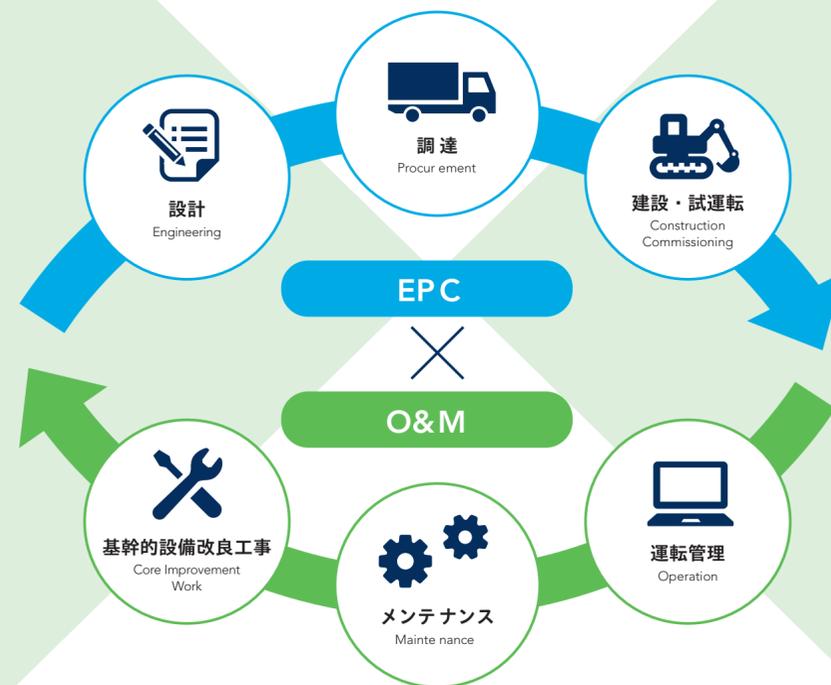


メンテナンス

施設の能力を最大限に発揮するために欠かせないメンテナンス。長年培ってきた実績・ノウハウを駆使し、施設の機能診断や劣化予測、適切工法の選定、機能保全計画策定など、ストックマネジメント手法によりライフサイクルコストを低減します。



廃棄物の処理・利活用で
くらしを支え、環境をまもる
人と技術を融合させ、
最適なソリューションを提供



JET が誇るのは資源の循環と エネルギーの利活用技術。
それらを下支えするのが、豊富な実績に基づくEPCと
安全・安心・安定なO&Mです。

EPC：設計 = Engineering 資材調達 = Procurement 建設 = Construction
O&M：運転 = Operation 維持管理 = Maintenance

PRODUCTS 納入実績

最新鋭の焼却炉を備えた「ごみ焼却施設」や、資源ごみを受け入れ再利用できる有価物として回収する「マテリアルリサイクルセンター」。こ



やんばる美化センター（沖縄県国頭村）



江別市環境クリーンセンター



唐津市清掃センター



標茶町クリーンセンター

TECHNOLOGY 技術開発

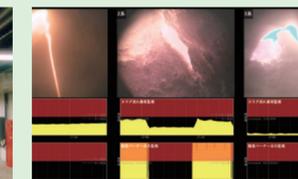
環境負荷を低減しながら、廃棄物を効率よく完全燃焼させる手法。さらには排ガス中の NOx やダイオキシン類を除去する触媒の開発や、排ガスから有用な塩 (NaCl) を回収する技術。さらに DX を駆使した施設の管理など。JET は、さらなる処理技術向上と環境負荷低減に取り組んでいます。



最新鋭ストーカ炉技術



環境負荷低減への取り組み



DX 運転データ管理

新設炉建設や、先端テクノロジーを駆使した技術開発も。
エネルギー創出（発電）や資源循環で、環境保全に広く貢献

製品・技術開発